

参考文献

[1、日本国憲法改正草案（第九章・緊急事態条項）](#)

[2、日本弁護士連合会（日本国憲法に緊急事態条項「国家緊急権」を創設することに反対する意見書）](#)



◆今、わたしたちは時代の岐路に立たされています

「法律は、ややこしくて、分かりづらくて、さっぱり分からない。だから見ても仕方がない。そういうのは政治家が良い具合にやっといてよ。」

こういう人が大半じゃないでしょうか。気持ちはよく分かります。

その証拠が選挙の投票率です。

でも、それが社会全体を支配する権力者の思うツボだという事に早く気が付いて下さい。

思考停止の庶民を見て、かげで笑っているんですよ。マジで。

日本人よ、早く目を覚まして下さい。

政治なんて面倒くさいとか言ってられませんかよ。

◆私たちは今、個人の権利、自由を失うかどうかの岐路に立たされています

私はいつもそうですが、意図的に仕掛けられている**プロパガンダ**（都合の良い報道のみを流すメディアによる洗脳）や偏った世論の**先入観**を出来る限り頭に入れたくないので、テレビはもちろん、ネットニュースや著名人の情報などを見ずに一次資料（一番最初の情報）を自分の目で見て事実を分析します。

今回の場合は、まず[日本国憲法改正草案](#)を隅々まで読み、引っかかる所（ありすぎて大変だった）をどんどん抜き出し自分の見解をまとめます。

そして、その一つ一つを詳しく見直し分析していきます。

ここではじめて様々な資料を読み込んでいきますが、客観的に情報を分析する為に必ず**賛否両方の意見**をしっかりと見ます。

今回参考にしたのは、改正案を作成した政府与党と[日本弁護士連合会（日本国憲法に緊急事態条項「国家緊急権」を創設することに反対する意見書）](#)です。

そして、憲法が作られた又は改正された際の時代背景も十分に鑑みなければ真の意図が見えて来ませんので、その分野は「日本で」じゃなく、世界に通用するジャーナリストや専門家の情報が重要です。

日本の常識は世界の非常識という事が多々あるので、日本のメディアに出演する人物またはメディアで報じる情報だけで判断しては決して真実は見えません。

私を感じた「危険性」は日弁連も指摘されていました。

日弁連の資料は「緊急事態条項を新たに創設」する事についての指摘ですが、私は、緊急事態条項に合わせて、自民党がまとめた「日本国憲法改正草案」もすべてチェックしました。

そうしたら、緊急事態条項と同じく、出て来る…出て来る。

改めて、本当に、今、国民が権力をしっかりと監視しないとまずいと思いました。

◆分析結果

その根拠となる解説を入れるととても長くなるので別のところで致します。

これまでの憲法は「個人」を尊重した上で憲法が作られて来ました。

【個人がいて、家族が形成され、その集合体として地域が成り立ち、地域の自治が国を支える。】

つまり、国家の基盤には個人という存在があり、それを最大限に尊重するという気持ちがしっかりと憲法から感じられました。

しかし、今回の改正案では至る所で「個人」という言葉が消されています。

まさに「全体主義」を前面に推し進めようとする意図が見え見えなのです。

たぶん誤解している人も多いと思うので突っ込んで言えば、ここで言っている全体主義とは「日本全体」を考えての全体ではありません。もっと大きい動きがあるのです。

世界全体としての全体主義です。つまりグローバル社会に見合う日本国憲法にしようという意図が見え見えなのです。

もっと言えば、日本の統治体制を変えたい「何らかの力」が働いているでしょうって思わざるを得ない内容です。

国家観や文化や自治体の特性を尊重した国作りではなく、**世界統一のシステム・価値観**によるグローバル化・新自由主義を掲げる**超エリート層が動かしやすい国にする為の法改正**としか思えないというのが私の見解です。

そして、今回の法改正で間違いなく言えることは、

緊急事態宣言下においては、**個人の権利や選択の自由、表現の自由など、際限なく制限される危険**が間違いなくあるという事です。

これまで国や自治体への協力要請に対する国民の参加はあくまで「努力」でしたが、完全に「義務」と明記されています。さらに付け加えるように「…しなければならない。」と言い切っています。つまりこの法改正がなされれば**法律により政府が決めた事には強制的に従わなければならない**のです。

長くなるので一旦ここでやめますが、まだまだ、これだけじゃありませんからね。

読めば読むほど戦時中の支配政治に逆戻りするようで危機感しかありません。

こんな条項を誰が認めますか？

これだけ重大な法改正にも関わらず、今メディアは騒いでいますか？そこに答えがあるのです。

その理由をちゃんと考えないとメディアが流す報道だけに洗脳され「思考停止」にさせられてしまいます。そしていつか、疑問を持つ事すら忘れてしまうでしょう。

政府とメディアは一体です。政府にとってプラスになる報道は行いますが、マイナスになる報道は各局示し合わせたように報道しません。これが**プロパガンダ**です。

そして、もし国民に反論が起これるようになった時には、必ず同じ現象を起こします。

それが**スピン報道**です。

衝撃的な事件や有名人のスキャンダルなどで国民の目を一気に背けさせるのです。

各局が一斉に同じ報道をし始め、連日焚きつけるように報道し始めた時は要注意です。

その裏で何か「重要な法案」が静かに通されようとしている事を疑いましょう。

◆見抜け！日本国憲法改正草案（緊急事態条項）に潜む危険性

[日本国憲法改正草案](#)には、現行憲法と改正草案が上下に記載されています。

変更または削除または追加になっている個所には線が引かれていますので、その部分を注意して見比べて下さい。

照らし合わせながら、**その変更が意図するもの**を読み取って下さい。

文章になっていない「文脈」や「行間」を読む事も大事です。

そして、[日本弁護士連合会（日本国憲法に緊急事態条項「国家緊急権」を創設することに反対する意見書）](#)

の意見書を読むと、法律の専門家が指摘する要点がよく分かります。

この二つの資料をもとにじっくりと読んで行けば、誰もがこの改正案の危険性が分かると思います。

あなたの未来の問題です。

あなたが行動を起こして下さい。

最後は**国民の半数以上**が反対票を投じなければこの法案は可決してしまいます。

個人の権利、選択の自由、行動の自由、表現の自由

みんなで守りましょう。

私たちの未来がここにかかっています。